

# 知床五湖の利用のあり方協議会（第17回）議事録

1. 日時：平成23年3月28日（月） 17：30～20：30

2. 場所：知床世界遺産センター レクチャールーム

## 3. 出席者：

北海道大学：愛甲

知床温泉旅館協同組合：佐々木、鈴木

しれとこフォーラム21：小川

知床民宿協会：小野寺

斜里バス：川村、岡崎

NPO法人知床斜里町観光協会：喜来、青木

ウトロ地域協議会：松本、佐藤

財団法人自然公園財団：杉野

知床ガイド協議会：鈴木、山本、関口

環境省：則久、野川、中村、二戸

ウトロ自治会：新田

北海道：大宮、石川

ユートピア知床：上野山、吉田、千葉

財団法人知床財団：増田、寺山、岡本

※順不同、敬称略

## 4. 配布資料：

資料1-1 植生保護期の利用推進・円滑化について

資料1-2 利用推進・広報戦略部会の設置について

資料1-3 予約調整事業者の公募について

資料2-1 今年度のモニタリング結果報告と、来年度のモニタリング計画について

資料2-2 平成23年度知床五湖利用調整地区モニタリング実施計画（案）

資料3-1 平成23年度知床五湖整備ない様平面図

資料3-2 平成23年度知床五湖整備関係行程表

資料4 平成23年度知床五湖の利用のあり方協議会全体作業スケジュール

資料5 知床五湖登録引率者審査部会 設置要領改正案

参考資料1 第4回知床五湖登録引率者審査部会議事メモ

参考資料2 第5回知床五湖登録引率者審査部会議事メモ

参考資料3 第5回知床五湖登録引率者審査部会資料（修正版）

## 5. 議事概要：

【開会挨拶】 釧路自然環境事務所 則久次長挨拶

【植生保護期の立入について】

**環境省：**資料1-1の説明；植生保護期になるべく多くの方に利用していただくために、個人の利用客に対しては、10日前から30分前までの柔軟な予約を可能とする。また、知床五湖指定認定機関が予約データを打ち出すとそれがそのまま申請書になるような形にすることにより、申請者が五湖フィールドハウスの中で申請書を書く手間を省くことができるような円滑なシステムの構築を目指していく。一方、団体利用客に関しては、早期予約受付に伴う旅行会社の仮押さえの発生、一元的な予約窓口や問い合わせ先の欠如といった課題を解決するために調整事業者制度というものを設け、なるべく付加価値の高いツアー企画の受け入れ機会を増やしていくことを検討している。調整事業者は複数を想定しており、ガイド事業者が調整事業者の有力候補と考えている。

**知床財団：**資料1-2、1-3の説明；資料1-2では、定められた枠の中で、利用調整地区制度の趣旨をきちんとアピールしながらより多くの人々に利用してもらえるような広報を戦略的に実践していくことを目的とした利用推進・広報戦略部会（通称ウェルカム部会）を五湖の利用のあり方協議会の下に設置することが提案されている。資料1-3では、利用推進・広報戦略部会として早々に実行した方が良い具体案として、団体ツアーの対応を円滑に行うための予約調整事業者の運用規定や募集要項などが示されている。

**知床ガイド協議会：**調整事業者は何社までなのか。

**環境省、知床財団：**特に上限は決まっていない。要件を満たした業者であればよい。

**知床ガイド協議会：**調整事業者は組織でないといけないのか。個人でもいいのか。

**環境省：**個人でも事業を行っている方、何らかの組織をお持ちの方ならよい。

**知床ガイド協議会：**事業者数には何らかの形で上限を設けた方がいい。できれば一者が望ましい。

**知床財団：**JATA説明会でも窓口は一本の方がよいということは繰り返し言われているが、調整がうまくいかないのが現状である。

**知床ガイド協議会：**事務局がやるのがよいのではないか。調整するなら、利害関係の及ばない何かのルールで決定できるという形にしないと、力関係が影響してくる。旅行業界に関係ない、または利害関係の及ばないところがやらないと苦しくなってくるだろう。

**斜里バス：**旅行業者はツアーを組む時点で工程を決めていく。それを集めて調整し、返事をしていかないと絶対無理である。

**環境省：**例えば同時刻枠で3者の予約が入っていた場合、前後10分ずつずらしましょうと行って調整し、最終提出するのが調整事業者の役割。予約が重なった際に自分が10分先なのか、後なのかはそれぞれの力関係なのだろうというのが先程のご意見なのかもしれない

が、それに関しては例えば早い者勝ちなどといったルールを後で決める必要があるかもしれない。話し合いによって決められるのならそれが一番いいとは思いますが。

**斜里バス**：その話し合いは誰がするのか。旅行会社にやってもらうのか。

**環境省**：旅行会社ではなく、旅行会社からオーダーを受けていた例えばガイド事業者やホテルのフロントである。

**斜里バス**：添乗員だけしかついていないツアーの場合はどうするのか。

**環境省**：添乗員だけのツアーにも対応できますという調整事業者がいれば、そこがやることになる。

**知床ガイド協議会**：手数料は存在するのか。ボランティアでやるという空気にはなりづらい。

**環境省**：旅行手配料としてできる場所があればそれは可能だと思われる。

**しれとこフォーラム 21**：調整業者は、人数がいっぱいである場合には断ることはできると思うが、特定の団体を受けないということはできるのか。どの団体でも等しく受けるのか。

**環境省**：受けた方がいいと思う。

**知床ガイド協議会**：ホテルの予約と同じ構造で難しい。いっぱいにしようと思うと 300%受けるのか、500%受けるのかという判断が手じまいまで必要になってくる。その判断は個人の能力で、高度なテクニックが要求される一つの仕事である。誰でもできるというものではない。

**しれとこフォーラム 21**：団体とは何人以上を団体というのか。

**環境省**：何人以上が団体かというのはいいづらいところ。

**しれとこフォーラム 21**：それは決めておいた方がよい。それによって申し込の方法が違ってくる可能性がある。

**知床財団**：一人でも団体ツアーに限るという意味ではない。

**しれとこフォーラム 21**：団体枠と個人枠を分けるのか？予約調整事業者が受ける分と個人が予約する分を分けるのか？

**環境省**：予約調整事業者が 10 日前までに整理した分があって、その残りの部分が 10 日前からオープンになり、個人で予約を打ち込めるということになる。

**しれとこフォーラム 21**：予約事業者が個人も受け入れるとすれば、皆予約事業者に予約し個人が申し込みしにくくなるのではないか。

**環境省**：予約調整事業者に頼めば円滑に進むということになってくればその可能性はある。逆に言うと、事前に予約が確定できるということなのでこの予約システムは重宝されるものになる。

**しれとこフォーラム 21**：予約調整事業者が別にあり、しかも複数あるとするとよほどきちんと広報しないと一般の個人が予約調整事業者を利用するのは難しい。

**環境省**：団体利用の予約も個人利用の予約も調整事業者として受けてくれるところがあるならば、協議会で話し合いの上広報をし、調整を始めてくださいということになるだろう。

**知床ガイド協議会**：今の話をうかがっている限り、指定認定機関がやるしかない話ではないか。手数料というものを考えない場合、労力をかけて調整し、利用者数が増えて収入がアップするのは指定認定機関だけである。指定認定機関ならば自身の収入アップのために、または混雑を避けるため、一生懸命調整するだろう。

**環境省**：ガイド事業があるなしにかかわらずということか。

**知床ガイド協議会**：その通り。

**環境省**：ガイド事業がある場合、調整という点に関してガイドにとってはメリットがあると思うが。

**知床温泉旅館協同組合**：植生保護期というのは一般の人も入れたいという期間なので、指定認定機関がやべき。

**環境省**：指定認定機関の場合は、大きく黒字になると、次の段階として手数料を落としていこうという話になる。単純に指定認定機関にとってどんどんお客さんが入れば良いということになるのかどうか。

**知床温泉旅館協同組合**：五湖のめざすものは付加価値の高い利用の場を提供することである。その利用のチャンスを作っていくということなので、そのような意味とは違うのではないか。

**環境省**：そのチャンスを作るという手間をどこが担うのかを考えた場合、どんなに努力したとしても手数料収入に限られる指定認定機関に一元的に任せていいものなのかどうか。努力という点でモチベーションを維持していくのはかなり難しいのではないか。

**しれとこフォーラム 21**：「個人か団体か」ではなくて、「飛び込みで来るのか予約で来るのか」の話ではないのか。つまりここは受付業務をどうするかという問題なのだから指定認定機関がやるべき。こんなものは実際に誰かボランティアでやってくれと言ってやることではない。これは受付業務だ。

**環境省**：指定認定事務の中には予約の部分は入っていない。予約から指定認定事務であるということにしてしまうと、予約の段階で入金を確認しなければいけない等いろいろな手間があったので、予約はあくまでもサービスであって正式には窓口に来てからが指定認定事務の開始であるという形にさせていただいた経緯がある。指定認定機関の運行上の収支の計画の中には予約の調整業務は入っていない。

**知床温泉旅館協同組合**：設定された時間内になるべく多くのお客さんを入れるようにするのはあたりまえなのではないのか。

**知床財団**：指定認定機関として調整に当たること自体問題はないのか。例えばそこで手数料を別にとることは可能なのか？

**知床温泉旅館協同組合**：一般的にはまず考えられない。

**知床財団**：金銭が発生しなければ指定認定機関が調整を行うことは問題ないのか？

**環境省**：問題ない。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：指定認定機関がやることによって流れが簡単になる。

**環境省**：手間の部分は認定手数料に加算してもいいという話になるのか。

**一同**：それはならない。

**斜里バス**：調整するのに手数料を取ることにはならない。そんなばかげた商売はない。

**知床ガイド協議会**：予約調整は大変で手数料のようなものが入らないとできないというなら、10日前から始まる個人予約受付のみに戻せばよい。しかしそれではツアー旅行が組みなくて困ることならば何か知恵が必要だ。ただし、たくさんの人で予約を受ければいいということになると、公平性という意味でも調整が難しく危険である。それは客にとっても良くない。協議会の名前のもとで調整できるという形であればよいが、個人のある事業者が資格を持っているという形はおかしい。

**知床財団**：協議会の総意として指定認定機関が調整するとなった場合、環境省としてそれは問題ないのか。

**環境省**：予約システムの管理を契約として出すということか。

**知床財団**：契約がなくても指定認定機関が予約の調整業務に関わってもよいのかという意味。

**環境省**：問題ない。

**知床財団**：指定認定機関が調整も含めてやらないとうまくいかないというのなら、やる必要があるのかもしれない。どうやって公平性を保っていくかが問題だが。

**知床温泉旅館協同組合**：指定認定機関がやったということであれば相手も納得するだろうが、ガイドのような一事業者がやれば納得できないだろう。

**知床財団**：協議会で正式に承認されるなどの形をとるのか。

**斜里バス**：そういった整理は必要だ。

**環境省**：例えば今度作られる部会の中で指定認定機関の位置づけが文面化されれば指定認定機関は動きやすいとは思う。

**しれとこフォーラム 21**：団体は早く予約ができるので、個人で予約できる枠の数が少なくなる。個人と団体の枠を別に決めておかなければならない。

**知床財団**：団体と個人はおそらく分けられない。

**しれとこフォーラム 21**：そうすると全て団体で枠が埋まってしまう可能性がある。

**知床財団**：その可能性はある。しかし個人にも10分間につき10名ずつの枠がある。

**しれとこフォーラム 21**：過去のデータを見ると個人の団体に対する割合は個人：団体＝10：40より大きい。例えば20人、20人の2団体の予約が入ってしまえば、個人では当日枠の10人分しかないことになる。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：20人、20人でぴったり収まることはそう滅多にない。例えば18人の団体予約と20人の団体の予約が入った場合、残りの2名枠に他の団体が入ることはない。その2枠は個人に振り分けられることになる。個人のお客様は団体予約で余った枠と当日の10名枠を予約することになる。

**しれとこフォーラム 21**：先程のデータでは団体：個人の割合は約 6：4 である。今のよう  
に団体予約で余った枠と当日枠だけでは個人のお客様の需要に応えきれないのではないかと。

**環境省**：現在、どのくらいのお客様が入るかということについては見えない部分がある。  
運用開始するとそれが徐々に見えてくると思われる。試行し、状況を見てから変更を加え  
ていくという形でもいいのではないかと。

**しれとこフォーラム 21**：データを見ると、人気のある時間帯は団体が多いのではなく、  
個人も団体も多い。それをバラして平均化しようというのがこのシステムで、その点は良  
いのだが、少なくとも団体が優先して入っていけるというシステムにはならないようにし  
てほしい。

**環境省**：最初からフルオープンでスタートすることはできないかもしれない。ご意見をい  
ただいたように公平に予約が取れるということは必須のことかもしれないが、そこに至る  
までの試行期間がほしい。

**しれとこフォーラム 21**：いただいた資料を見ると植生保護期は個人 7 万人、団体は 9 万人  
となっている。8 月に至っては個人利用者数の方が多い。個人客が大きくあぶれることがな  
いようにしてほしい。

**環境省**：個人をむしろ大切にしたいということか？

**しれとこフォーラム 21**：そうではない。人数枠の振り分けを適正にやってほしいというこ  
と。

**環境省**：旅行会社を介して早く予約する個人もいるだろう。一方で、個人が直接指定認定  
機関に問い合わせをすると指定認定機関が事務的に耐えられるかどうかという懸念がある。

**しれとこフォーラム 21**：個人でも、例えば一か月以上前に飛行機の予約を取ると同時に他  
の予約を取る場合がある。個人だからといって、予約開始日が遅くていいということには  
おそらならない。

**環境省**：予約をしてしまうとその時間に現地に行かなければいけない。個人の場合  
いいところがあればゆっくりしたい等時間に縛られないで行動する人もいる。お客さんご  
とに対応ができるような形を、広報を含めて考えていく形になるだろう。

**知床財団**：皆さん全員の了解を得られた上で、予約調整事務をお受けしたい。

**環境省**：協議会の総意として知床財団に予約調整業者になってもらうということによろし  
いか？

一同：異議なし。

**知床ガイド協議会**：当日の 10 名枠は早い者勝ちか。

**環境省**：その通り。並んだ順番である。

**知床ガイド協議会**：予約したお客様が時間までに来なかったらどうなるのか。

**環境省**：流すともう一度並んでいただくという形になる。そこで空きが出た枠は後ろで並  
んで待っている人を入れていく。

【今年度のモニタリング結果報告と来年度のモニタリング計画】

**愛甲先生**：資料 2-1 の説明。

**環境省**：資料 2-2 の説明。

**ウトロ地域協議会**：高架木道の利用の時間については天候が影響するのではないかと。天気の状態をデータとして入れておいてはどうか。

**愛甲先生**：おっしゃる通り。昨年調査日当日は暑くて、休む場所がないので帰ったという利用者もいる。高架木道が延長されたことで滞在時間が 10 分ほど延びるのではないかと予測していたが、そのような理由で利用者数はあったが滞在時間は延びなかった可能性はある。その他観光船の運航状況が五湖の利用状況とリンクしているようなので、その点を考慮して利用の変動を予測できないか検討中である。

**ウトロ地域協議会**：観光船の欠航時、五湖に利用者が集中するのが特徴だ。観光船の運航・利用状況との相互関係を読み取ることができるようなデータがほしい。

**ウトロ地域協議会**：他の場所、例えば男の涙、自然センターとの相関も調べてほしい。

**環境省**：海鳥の関係でこのような会議を別に設けているが、その中で、観光船の利用状況や顧客の満足度に関して五湖の利用状況との関連性を調べた方がよいという意見をいただいている。その点は意識してやっていきたいと思っている。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：土壌浸食のモニタリングをした後、具体的にどのような検討がなされるのか。

**環境省**：現状のような利用を続けていくことによって浸食が進むようならば階段を設置する、立ち入り禁止にするなどの対応も視野に入れて検討していくことになる。基本的になにかしらの手を打たなければならない。

**愛甲先生**：1~2 年モニタリングを続けて、例えば歩道の幅員が顕著に広がったり、激しい浸食が見られたりといった状況が確認されれば、その時は優先順位を決めて対応していくことになるだろう。そのためのモニタリングである。

**環境省**：順路が逆になるので想定外の所で影響が出る可能性もある。

**ウトロ地域協議会**：資料 2-2 について。五湖の水質、水量、表面積、歩道上の窪地に溜まった水を抜くために切ったドレインから泥水が五湖に流入していないかなどを長期的にモニタリングする必要があるのではないかと。

**環境省**：モニタリングのポイントを設定する際に、ご指摘の点を参考にさせていただく。現地での観察は続け、対応が必要な部分に対応していく。

**愛甲先生**：利用調整地区制度を導入したことによって起こる変化と、長期的スパンで起こる知床五湖周辺の環境の変化とは分けて考えなければいけないだろう。今回のモニタリングに関しては利用調整地区制度導入による影響がどの程度なのかを検証していくためのものである。

**環境省**：シカの影響のモニタリングも始めなくてはいけないので、そういった中でご指摘いただいた点を考えていきたい。

**環境省**：モニタリング項目に関してはウトロで観光業に携わっている方たちの協力をいただかなくてはならない部分もあるのでよろしくお願い申し上げたい。

【施設整備状況と来年度の計画について】

**環境省**：資料3-1についての説明；建物については順調に進んでいたのだが、東北関東大震災の影響によって2週間～3週間の資材搬入の遅れが生じている。それに伴い当初予定されていた3月末での完成には間に合わない。現在の状況としては工事の95%は終わっており、内装と機械設備関係の配管を残すのみとなっている。業者からは、知床五湖のオープンの前までにはなんとか建物の工事は完了するだろうとの連絡を受けている。

**自然公園財団**：パークサービスセンターの工事は順調。知床五湖のオープンの際には利用できる見込み。15日引き渡し予定となっている。

**環境省**：ここで、五湖フィールドハウス内で行う植生保護期のレクチャー映像をお披露目を兼ねてご覧いただきたい（プロジェクターの故障により途中で上映中止）。

**環境省**：来年度以降必ずルールが変わってくると思われるので、その際には映像を修正し毎年毎年そのシーズンの一番いい内容にしていきたい。

**環境省**：資料3-1の説明；当初、建物周りの歩道や「フィールドハウス広場」と図面に記載されているようなところに関しては、建物を建てた時と同時に完成する予定であったが、工事の遅れ等もあり、舗装が入らない状況にある。これについては23年度秋以降、他の部分と一緒に工事を行う予定。今年度は建物周りに砂利を敷いて対応する。高架木道入り口前については、多少のスペースを取りウッドデッキや舗装等により利用者が高架木道に入り易いような構造を考えている。地上遊歩道入り口については、北海道のトイレを撤去した後、ベンチや駐車場側から利用者が入れないようなゲート、案内標識などの配置を考えている。大型車両の駐車スペースについては、現行の位置に大型バスが駐車すると高架木道の入り口がわかりづらくなるということなので、図面右下の部分に移すことを検討したい。

**環境省**：資料3-2の説明。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：図面上の赤いラインの部分が来年度の工事の対象部分ということか。

**環境省**：おっしゃる通り。協議会で7月中に整備内容を検討し、来年度の五湖オープンまでにはこの部分についての工事を終了させるということ。赤いラインは大まかに引いたもので必ずしも守らなければならない外郭ということではない。ただし、駐車場については北海道の駐車場というところもあるので、環境省がどこまでできるのかという点について



は基本設計の中で検討していかなければいけないだろう。

**知床温泉旅館協同組合**：右下の駐車スペースは純増の部分ではないのか。駐車スペースが増えるわけではないのか。

**環境省**：機能的には現状と同等レベルになるだろう。実際に設計してみないと台数が増えるかどうかはわからない。

**知床温泉旅館協同組合**：前回言っていた意味と全く違う。増えると思っていたが。

**環境省**：高架木道の入り口のスペースをどのように設計するかによって変わって来ると思われる。そこは今後の相談事項と思われる。

**知床温泉旅館協同組合**：現在渋滞が起きるのは駐車場の駐車台数に問題があるからだ。少しは駐車台数を増やす努力をしてもらわないと利用者の満足度は上がらない。高架木道が完成されたことで利用者の滞留時間も延びる。

**環境省**：この部分を広げることによって何台停められるのかは実際に設計図を引かないとわからない。植生調査の結果を待つてあらためて協議させていただきたい。

**知床温泉旅館協同組合**：段差の解消による利便性、安全性、駐車台数の確保については23年度の工事に入らなくても継続的に検討事項として残してほしい。

**環境省**：段差の解消については引き続き協議会での検討事項だと認識している。

**ウトロ地域協議会**：今の利用方法ではお客さんが時間に合わせて五湖にやって来る。渋滞によって駐車できず時間に遅れたということになると大きなトラブルになり得る。かなり余裕をもった駐車台数の供給が必要なのではないか。個人的には駐車場の南側を拡張するのがよいと思う。基本設計の段階である程度案を出しておかないと外構工事もなにもない時にあらためて工事していただけるのか不安である。是非検討をお願いしたい。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：パークサービスセンターも五湖フィールドハウスも床が基本的にベタコンで止まっていると聞いているのだが。

**環境省**：五湖フィールドハウスはあらいだしのコンクリートでベタコンではない。パークサービスセンターの方はベタコンになっている。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：パークサービスセンターにレストランなどが入った時に、ベタコンだと保健所から許可が下りない。五湖フィールドハウスの方は打ち込んだ上に何かするのかわかるのか？

**環境省**：滑らないようにあらいだしのコンクリートになる。玉砂利のようなものが表面に固定されている感じ。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：掃除は簡単なのか。

**環境省**：掃除機をかけるだけになる。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：モップがけはしないのか。

**環境省**：モップは使用しない。トイレはベタコンで塗装しているのでモップがけも可能かと思われる。建物のトイレ以外の部分については基本的に掃除機をかけるのみになる。

**知床温泉旅館協同組合**：パークサービスセンターは打ちっぱなしか？

**自然公園財団**：打ちっぱなしである。

**知床温泉旅館協同組合**：それではダメだ。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：五湖フィールドハウスに関してだが、植生保護のために掃除機だけで外来種の侵入等を防げるのか。

**環境省**：屋内がドロドロの状態ではないので屋内を歩いたからといって泥だらけにはならないのではないか。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：遊歩道から戻ってきた人が泥を屋内に持ち込まないとは言えない。

**環境省**：多少汚れるだろうが、乾いたところで掃除機をかけて対応することになるだろう。

**NPO 法人知床斜里町観光協会**：遊歩道から戻ってきた利用者はその足でパークサービスセンターにも入って来る。その際にモップがかけられない場合、どう対応するのか。

**環境省**：パークサービスセンターに関しては自然公園財団とユートピアの間で協議していただきたい。

**知床ガイド協議会**：五湖フィールドハウスと駐車場の段差はいつ解消されるのか。

**環境省**：今年の秋の工事で解消する予定である。

**知床温泉旅館協同組合**：五湖フィールドハウスとパークサービスセンターのスタッフの駐車場はどこなのか。

**環境省**：パークサービスセンターの裏や五湖フィールドハウスの裏の浄化槽の上に車を駐車することができる。スタッフの車は全て裏に置けると考えている。

**ウトロ地域協議会**：渋滞情報や待ち時間情報は何らかの形でなされていたのか。

**環境省**：現行もそうだが、五湖の駐車場からの情報を観光協会等に FAX し、それを利用者に案内する形。これまでの協議会の中で議論されてきた屋外に掲示するかどうかについては実行できる段階には至っていない。

**ウトロ地域協議会**：日の出や峰浜にある開発局の電光板を案内として利用できないのか。早めに情報を与えることは渋滞緩和の一つの方法として有効である。

**環境省**：昨年度、マイカー規制期間中は幌別と知床自然センターの近くの掲示板で混雑情報を流すようにしていた。何百 m で何分待ちといった正確な情報を流すと、実際利用者が現場に到着したときにその時間がずれていたりすることもあり、かえって不満が大きくなる可能性がある。幅を持たせた情報の流し方がいいのではないかという議論が以前あった。それをどのような方法でやるのかはこれから考えていく。

**しれとこフォーラム 21**：その場の状況を知らせるのが情報提供の原則だと思う。レクチャー予約状況や渋滞情報を携帯で確認できるような仕組みを是非検討してほしい。また、マイカー規制の区間の変更等を含め混雑を解消し、スムーズに駐車場を利用できる方法を検討してほしい。

**愛甲先生**：混雑情報を出すことも必要だが、それだけでは利用者は行動を変えてくれない。今五湖が混んでいる、ではいつどのようにすればより快適に利用していただけるのか

といった情報を組み合わせて出してあげることが重要。カムイワッカの問題もあるので、  
どういう情報をどこに出したら利用者の行動を変え易くなるのかといった社会実験のよう  
なものができるらいいと思う。

**環境省**：どういう情報の出し方がいいのか、しっかり考えていきたい。

**ユートピア知床**：携帯は使えるのか。

**環境省**：今の状況としては、駐車場の周辺で docomo だと多少は通じるようだが、不安定の  
ようだ。五湖フィールドハウスでは電話の回線は1本確保する予定である。インターネット  
環境についてはその電話回線だと貧弱なので携帯電話によるネット環境を整えようと考  
えている。

**しれとこフォーラム 21**：前にも申し上げたが、docomo が無料でアンテナを立てくれると  
言っているのだからそれについては検討すべきだ。

**環境省**：ここの地域の利用のあり方として何が望ましいかというところにかかってくるの  
で、かなり大きな問題になるだろう。今のところブースターを設置することによって五湖  
フィールドハウス内でもデータ通信が可能なくらいの環境が確保できると考えている。

**ウトロ地域協議会**：パークサービスセンターでも使えるのか。

**環境省**：おそらくブースターの有効範囲は五湖フィールドハウスの建物内ぐらいではない  
か。パークサービスセンターの方は独自に用意していただきたい。

#### 【今後の協議会のスケジュールについて】

**環境省**：資料4について説明。

**知床温泉旅館協同組合**：周知・広報の欄でメディアツアー、旅行博等記載されているが、  
それらに対する予算はどうなっているのか。

**環境省**：パンフレットを作成する予算と、Web の維持管理・更新していく予算はある。JATA  
の説明会に関しては自然保護官が出張しお手伝いをするという形になる。旅行博に関して  
は出展費の一部を環境省で負担することができればと考えている。まとまった広報経費が  
あるわけではない。広報に関しては広報部会ができるが、皆様にも協力していただきなが  
らいろいろなツールで PR していければよいと考えている。

**知床温泉旅館協同組合**：旅費が発生するものについてはどうなるのか。

**環境省**：各団体で集まって行くとすれば、それぞれの団体が出すような形になる。

#### 【その他】

**環境省**：参考資料1～3の説明。

**環境省**：資料5の説明；設置要領の横に（案）と付けなければいけなかったのだが、知床  
五湖登録引率者審査部会の設置要領の改訂を考えている。現行では「五湖の利用のあり方  
協議会より4名」と書かれており、その4名は個人名で指名されている。個人名での指名  
は個人が属する組織の代表であるという意味合いから外れてしまっているのではないかと

いう議論があった。したがって今まで「五湖の利用のあり方協議会より4名」と書かれていた部分を「ウトロ自治会（1名）」、「NPO法人知床斜里町観光協会（1名）」、「知床ガイド協議会（1名）」、「知床エコツーリズム推進協議会（1名）」と変更させていただき、それぞれの会の中で決定した方が構成員として登録される形にしたいと考えている。都合がつかず部会に出席できない場合は代理を出すことも可能である。また、この中で前述した構成員以外の団体が部会に参加したいということであれば手を挙げていただき、追加も検討したいと考えている。審議の方をよろしく願いたい。

**環境省**：構成員は基本的に一年交代で、来年のこの時期に開かれる協議会において再度入れ替えや追加について議論をいただければと考えている。審査部会の設置要領について、これで承認されたという形でよろしいか。

一同：異議なし。

#### 【報告事項】

**環境省**：今回の利用調整地区制度の関係で知床五湖の財務省所管の国有地は環境省所管に変わり、従って知床五湖の土地の所有は環境省と斜里町、遊歩道は北海道と、いわゆる公物関係は3者である意味完結する形となった。今後より一層いろいろなことができるようになるのではないかと思われる。詳細はあらためて公表させていただくが、今年度内に手続きは完了した。

**NPO法人知床斜里町観光協会**：ヒグマ活動期の予約システムは4月1日10時から立ちあがる。お客様の名前が取れた事業者が入力していただくことになる。ダミー入力でもよいが、あくまでも良心的に、空予約はお控えいただきたい。予約の取得は早い者勝ちである。

**しれとこフォーラム 21**：食べ物に関してだが、中に持ち込んではいけないということなのか、食べてはいけないということなのか。

**環境省**：中で食べてはいけないということと、中に持ち込む場合は密封して入ってくださいということ。

**しれとこフォーラム 21**：それは地上遊歩道に限ったことか。高架木道では食べてもいいのか？

**環境省**：高架木道も食べ歩きはご遠慮いただいている。

**しれとこフォーラム 21**：駐車場はどうか。フェンスのような明確な線引きがないので、利用者が戸惑うのではないか。

**環境省**：高架木道の入り口には木道上で食べてはいけない旨の指示はしている。地上遊歩道は入る前にレクチャーを受けることになっているので、遊歩道内で食べてはいけないということを明示できかと思う。食べていい場所を明示するかどうかだが、特に明示しなくてもよいのではないか。

**環境省**：本日の協議会において、利用推進・広報戦略部会の立ち上げについてはご了承いただいた、予約調整事業者については、協議会の総意として公募するのではなく指定認定

機関である知床財団がお引き受けいただけるよう内部で調整していただく、引率者部会の設置要領の改訂についてはご了承いただいた、という形でまとめさせていただきたい。

【閉会】